

大学院生のためのキャリアセミナー2023 開催報告

2023年12月21日（木）PhDリクルート室

開催日：2023年11月22日（水）15:00~17:50

開催方法：対面）総合教育研究棟大会議室、オンライン）Zoom配信＊メッセージトークのみ

参加者：35(28)名

[大学院生：23(16)名（DC：15(9)名、MC：8(7)名）、学部生：12(12)名]

[対面：16(16)名、オンライン：19(12)名]

※()内は新潟大学生の参加人数

パネリスト：

東海林 良太（国立研究開発法人産業技術総合研究所：新潟大学大学院 自然科学研究科 理学系）

谷口 諒太郎（日本電信電話株式会社：新潟大学大学院 自然科学研究科 工学系）

高村 愛（株式会社資生堂：お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 人文科学系）

鈴木 啓真（株式会社産業分析センター：新潟大学大学院 自然科学研究科 農学系）

角田 竜馬（JX金属株式会社：新潟大学大学院 自然科学研究科 理学系）

プログラム：

13:00-13:10 開会挨拶／趣旨説明

15:10-16:25 メッセージトーク

16:35-17:35 パネルディスカッション



若手博士企業人と語る

セキの大学院生

2023 **11/22** 水 15:00-17:50
 希望者のみ：情報交換会 18:00-19:30

東海林 良太（産業技術総合研究所）
 鈴木 啓真（産業分析センター）
 高村 愛（資生堂）
 谷口 諒太郎（日本電信電話株式会社）
 角田 竜馬（JX金属株式会社）

これからの自身のキャリア形成を考える際、そのロールモデルとの情報交流は貴重な機会です。このセミナーでは、博士号を取得後産業界でそのキャリアを歩み出した先輩のお話や経験を聞くことにより、ご自身のキャリア形成を具体的にイメージしていただけます。博士取得の意義、産業界の可能性の広さ、ジェネリックスキルの重要性をセミナーで感じましょう。

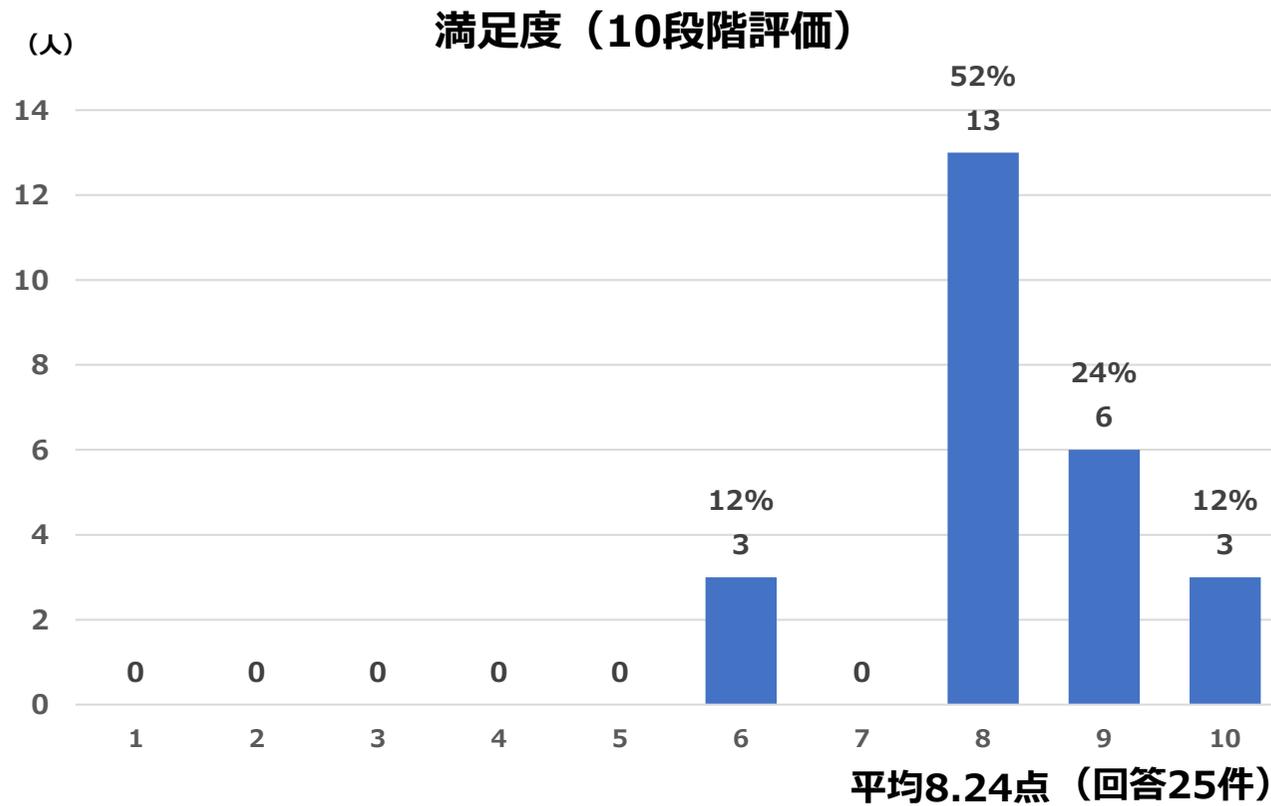
対象：新潟大学フェロシップ生 学部生・大学院生（修士・博士）・教職員
 定員：登録者5名によるメッセージトーク・パネルディスカッション

申込：2023 11/8（水）まで
<https://forms.office.com/r/HF8HLcqtTF>
 お問い合わせ：PhDクルード室 phdclub@gs.niigata-u.ac.jp

セミナーの様子：



1. 本セミナーの満足度をお聞かせください。



2. 1のように回答した理由をお聞かせください。

また、本セミナーについての質問や感想をご記入ください。

アンケート結果（n = : 25）※一部抜粋

講師の方々それぞれ個性的な就活や考え方を聞いたことが興味深かった。

博士に進学した先輩のお話を詳細に聴くことができたため。

有用な情報が得られたため

東海林さんが「事前質問に対する回答を用意していた」とおっしゃっていたが、可能であれば見てみたいと思う。

分野、就職先の偏りがなかったので話として面白かった

期待以上の情報が得られたから。開催形態も、双方向式なのがよかった。

私は結果重視タイプですので、企業から設計された目標に向けて仕事をするのが自分のモチベーションにつながると思います。

特にありません。

博士課程での就職事情に関して知ることができて良かったから。

来年以降のイメージができました。最後の交流セッション(?)の部分において、全体で進行するのではなく2つぐらいのグループに分けて話をそれぞれで進行するような形式だと、より活発にディスカッションすることができたのかな、と思いました。

様々な分野で活躍されている方の経験を聞くことができたから。

理論系出身の方のお話も聞きたかった

博士課程への心構えを聞くことができた

今後の進路を考えるうえで参考になる内容を聞けたから。

多様な方々のお話を伺うことができ、博士課程と就職後のつながりがイメージできたため。

様々な分野で活躍されている方々のお話を聞くことができ、視野が広がったため。

研究職に就く未来を考えていませんでしたが、ひとつの進路として考えるきっかけとなりました。

5名の方、それぞれのお立場の話を聞くことができたので、大変参考になりました。

先輩方の体験談を聞くことができ、自分の進路についての参考になる非常によいセミナーだったと思う。

産業界へ進学した理由や、現在感じていることを伺えたため、

非常にお話はためになった。特に博士課程でも就職先があるという点や入った後に博士課程をとることもあるという点がとてもためになった。

オンライン参加でも気軽に質問ができる時間がとれなかったことは残念でしたが、さまざまなケースを聴くことができて参考になりました。

実際に博士課程を経て就職した方々のお話を伺い、大学での研究と企業での研究の違いがより具体的にイメージできるようになったから。

博士課程に進学した理由について詳しく話してくれたため、大変参考になった。

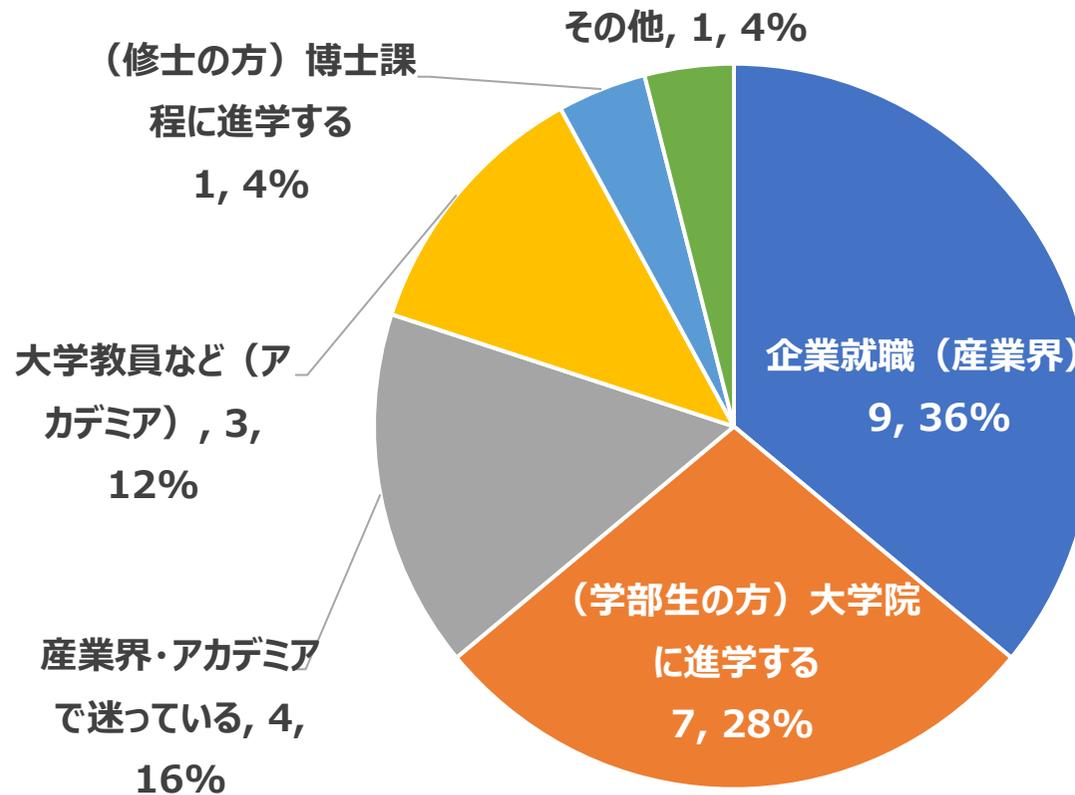
先輩たちからいろな就職情報を知りました。対面で聞いたり、いろな情報を集めました。

3. なぜこのセミナーを受講しようと思いましたか。

アンケート結果（n = : 25）※一部抜粋

- 博士号取得後のアカデミア以外のキャリアについて、事例を知りたかったため。
 - 研究活動のモチベーション維持と将来のキャリアの検討のため
 - 研究室のOBが登壇するため
 - 博士課程修了後の進路選択の参考とするため。
 - 博士課程進学に興味があったため
 - 博士号取得後の働き方について生の声を聞きたいと思ったため
 - 博士課程に進んだ人たちの博士課程に進学した理由や、博士課程修了後の進路に興味があったから。
 - 博士課程での就職活動の参考にしたかったから。企業（や大学以外）での研究・仕事の雰囲気を知りたかったから。
 - 就職のやり方や企業の仕事内容について聴きたかったですから。
-

4. 在学中の方にお聞きします。就職はどのように考えていますか。 アンケート結果 (n=25)



5. 活躍する若手人材の中で、話を聞きたい分野があれば 教えてください。

- 有機半導体
 - 農学、栄養学
 - 医学系の分野について
 - 製薬業界
 - 社会人ドクター
 - アカデミア(ポスドク、助教)
 - 化学系企業、抗体医薬品製薬系企業
 - 近年、大学教員に就職された方の話も聞きたいと思った。
-